



つくしぐみだより

2023.11

朝晩の風は秋らしくなり、肌に触れる風がだんだんと冷たくなってきました。園庭や公園で「よーい、ドン」とかけっこをして走り回る子どもたち。部屋に戻る頃にはうっすらと汗をかいています。朝晩と日中の気温差が大きい季節ですが衣服の調節を行いながら、今後も戸外活動を通して子どもたちと一緒に秋の自然の中で楽しく過ごしていきたいと思います。

◎みんなで楽しいね◎

幼児クラスのお兄さん、お姉さんが「おやこであそぼうデイ」で踊った「ソーラン節」の練習をベランダから見学していたつくし組の子どもたち。音楽がかかると、いつのまにか玩具のスプーンを持ってきて「トントントン」とリズムをとりながら身体を動かして動きを真似ています。

音楽がなくても部屋の中で「ソーラン、ソーラン」の掛け声を一人が始めると自然と一人、二人と集まってきて輪になり楽しんでます。掛け声に合わせてポーズをしたり、リズムを感じながら身体を動かすことを楽しんでいる姿が見られました。



靴・靴下を履くことに以前から取り組んでいますが、最近では「自分で」と言い保育者の手伝いがなくても一人で履けるようになって来ています。

左右が逆になってしまうことも時にはありますが、うまく履けた時には「できたよ！」ととても嬉しそうな表情を見せてくれます。

📖絵本を通して📖

音の響きやリズムを楽しんだり、動物や身近な物の絵を楽しんだり小さな子どもでも絵本は大好きです。

クラスにある絵本では「おつきさまこんばんは」・「くだものこれなに？」・「乗り物図鑑」が人気があります。1階の事務所横に「絵本コーナー」もありますので、お迎え後の時間に覗いて見るのも良いかもしれません。絵本は言葉の発達を促すだけでなく、感性や想像力も育てます。何よりも、おうちの人の膝にのってぬくもりを感じながらのひと時は、子どもにとっても幸せな時間です。

